

議事概要記録

開催日時	令和3年6月12日(土) 10:00~12:30	開催場所	ホテルアバローム 紀ノ国4階羽衣
会議種別	令和3年度 第2回常務理事会	議長	久保 光史
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	田中 規仁、田原 靖子、神藤 洋次、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史 6名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	森下陽子
次 第			
議事概要	<ol style="list-style-type: none"> 臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会 和歌山県臨床検査技師会 70周年記念式典 2023年(令和5年)近畿支部医学検査学会 臨地実習指導者講習会 その他 <ul style="list-style-type: none"> 次年度勉強会 会費徴収について 個人情報保護指針について 議決権行使書の受け取り方法 		
決議事項 及び 継続事項	<ol style="list-style-type: none"> 臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会 (担当理事として本議題のみ森下理事会議参加) 支部開催の指導者研修参加者、和歌山県での講習会の具体的な開催日、会場等について検討 <ul style="list-style-type: none"> 支部開催の指導者研修参加予定者(県内各地での開催も見据え理事より人選) ① 森下理事 ②大前理事 ③栗林学術部長 ④田原副会長 実務委員については随時推薦検討を進める。 <ul style="list-style-type: none"> 開催日、会場について まずは今年度市内での秋頃の開催を目指し <u>10月31日(日)、11月7日(日)</u>で <u>アバローム紀ノ国を仮予約</u>。参加者60名を3チーム分けて講習の為、3会場を準備。 (仮予約会場) 10月31日(日) : 鳳凰の間2/3と羽衣 11月7日(日) : 鳳凰の間2/3とギャラリー 上記の日程にてまずは、直腸肛門機能検査・消化管内視鏡検査を担当頂く医師の先生にご挨拶も含め予定確認を行う。(担当 田中会長) 和歌山県臨床検査技師会 70周年記念式典 新型コロナ流行を鑑み、簡素化した形式での開催も検討したが、技師会の歴史としても重要な式典であるため、今年度開催は見送り、対面での会合が可能になった時期に改めて開催することで一致。 		

決定事項：70周年式典は延期

70周年記念誌は単独で発行

70周年記念事業担当委員には、記念誌発行に関する作業を担って頂く。

3. 2023年（令和5年）近畿支部医学検査学会

今年度 福井県 Web開催

次年度 兵庫県 現地開催の予定

・学会役員決定の上、学会準備会議の開催スケジュール調整が必要

<現時点の決定役員>

学会長：田中会長 実行委員長：神藤副会長 学会企画運営：栗林学術部長

事務局・広報・会計等 その他の学会コア委員推薦については田中会長、神藤副会長で取りまとめた後に常務理事会及び理事会提案することとした。

4. 臨地実習指導者講習会

現時点での進捗なし

5. その他

●次年度勉強会 会費徴収について（神藤副会長より）

会費徴収案方法の案として挙がっていたパスマーケットについて、テスト運用を行い確認することで一致

テスト方法：和学会の口座を利用して、登録・支払い・振り込み・手数料など一連の工程について常務理事内で確認。

●個人情報保護指針について（神藤副会長より）

今後のWebによる勉強会やパスマーケットなどでの会費徴収など、新しい運営での個人情報の取り扱い増加が予想される中、和臨技として個人情報保護指針が具体的に策定されていなかった。早急な準備が必要である

他府県技師会の指針資料を参考に神藤副会長担当で素案作成準備を進める。

完成した指針については、細則のため理事会承認を経て運用開始とする。

●議決権行使書の受け取り方法（久保事務局より）

今回の議決権行使書回収の際に、会員より下記の意見を頂く

「議決権行使書配布の際に返信用切手・封筒をつけて頂けないか？」

日臨技などが行っている電磁的議決権行使も含め、今後の議決権行使書の運用についても見直してみてもどうか。

・議決権に関しては定款事項のため、総会での承認を得た上での運用変更が必要である

・団体の議決権として、書面運用、デジタル運用も含め法令上どういった事が可能なかを一度、司法書士 三木先生に確認することで一致。

	<p>●和臨技日当の支払い条件について（田中会長より）</p> <p>現状、和臨技事業内では <u>4時間以上の行動で3,000円支払い</u>の基準であるが、2時間以上の行動として見直しをしてみてもどうか。</p> <p>例）日臨技：時間制限なし 一律5,200円支給</p> <p>一年間の事業を対象に、時間制限なしで3,000円支給とした場合に必要な費用を会計側にて試算して頂き、それをベースに検討してみてもどうか。</p> <p>今後の継続議題とする。</p>				
記録作成	令和3年6月18日	氏名	久保 光史	提出	令和3年6月18日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可